

2005年7月期 中間決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- . 2005年1月中間期決算概況
- . 2005年7月期通期業績見通し
- . 市場の見通し及び今後の取組み

. 2005年1月中間期 決算概況

2005/1中間期決算のポイント

■ 減収・減益

- 売上高は、販売台数の減少を受け大幅減少（前年同期比 31.5%、計画比 36.7%）
- 総利益は、主力の給袋自動包装機の低迷が響き、計画比 47.2%
- 大規模展示会などがなく、また、人件費などを抑制することで販管費は計画比 17.5%
- 営業利益は、赤字転落

2005年1月中間期の業績(計画比)

(単位:百万円)

	2005年1月中間期		増減	
	計画	実績	金額	率
売上高	2,200	1,392	807	36.7%
売上総利益	653	345	307	47.2%
(売上総利益率)	(29.7%)	(24.8%)	-	-
営業利益	205	23	229	-
(営業利益率)	(9.4%)	(1.7%)	-	-
経常利益	208	19	227	-
(経常利益率)	(9.5%)	(1.4%)	-	-
中間純利益	123	12	135	-
(中間純利益率)	(5.6%)	(0.9%)	-	-

2005年1月中間期の業績(前年同期比)

(単位:百万円)

	2004年 1月中間期	2005年 1月中間期	増減	
			金額	率
売上高	2,033	1,392	640	31.5%
売上総利益	596	345	251	42.2%
(売上総利益率)	(29.3%)	(24.8%)	-	-
営業利益	191	23	215	-
(営業利益率)	(9.4%)	(1.7%)	-	-
経常利益	203	19	222	-
(経常利益率)	(10.0%)	(1.4%)	-	-
中間純利益	122	12	134	-
(中間純利益率)	(6.0%)	(0.9%)	-	-

売上高減少の要因

前年同期比： 640百万円、 31.5%

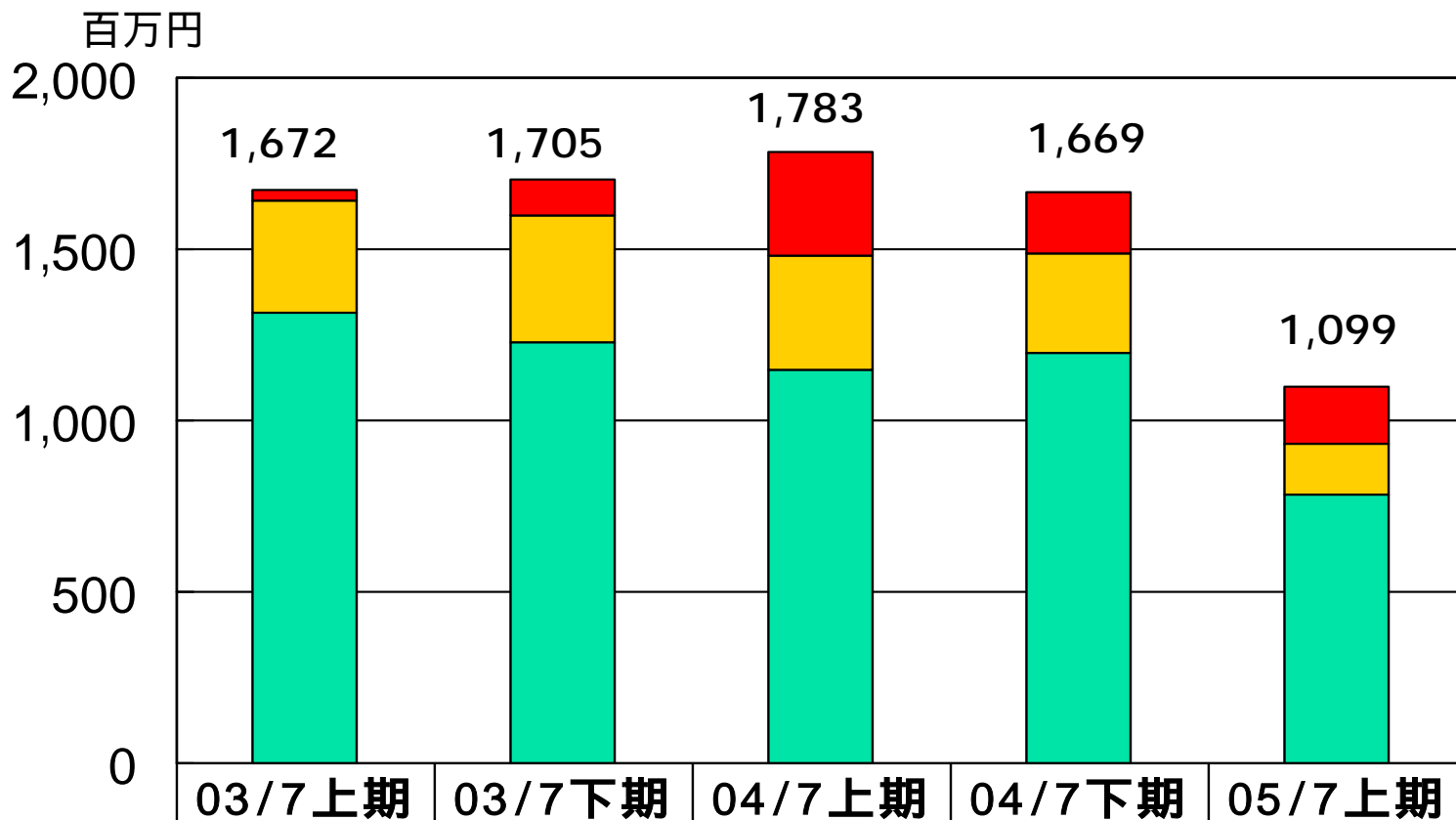
- ・全体として上期売上分の受注が低迷し、販売台数が大幅に減少
- ・給袋自動包装機： 331百万円
主力機種2000型をはじめ、販売台数が大幅に減少
- ・製袋自動包装機： 42百万円
販売台数は増加したものの、高価格機種の販売台数少ない
- ・ガス充填自動包装機： 138百万円
前期は高価格の新機種の販売が貢献したが、今期は従来機種のみ
- ・包装関連機器等： 171百万円
少額機器販売台数減
- ・保守消耗部品その他： +43百万円
高額保守案件の受注件数増加

品目別売上内訳

(単位:百万円)

	2004年 1月中間期 実績	2005年 1月中間期 計画	2005年 1月中間期 実績	前年同期比増減	
				金額	率
給袋自動包装機	1,014	1,239	683	331	32.6%
製袋自動包装機	258	308	215	42	16.5%
ガス充填自動包装機	210	53	71	138	66.0%
包装関連機器等	300	383	129	171	57.0%
保守消耗部品その他	249	217	292	+ 43	+ 17.2%
合計	2,033	2,200	1,392	640	31.5%

最終ユーザー業種別売上高

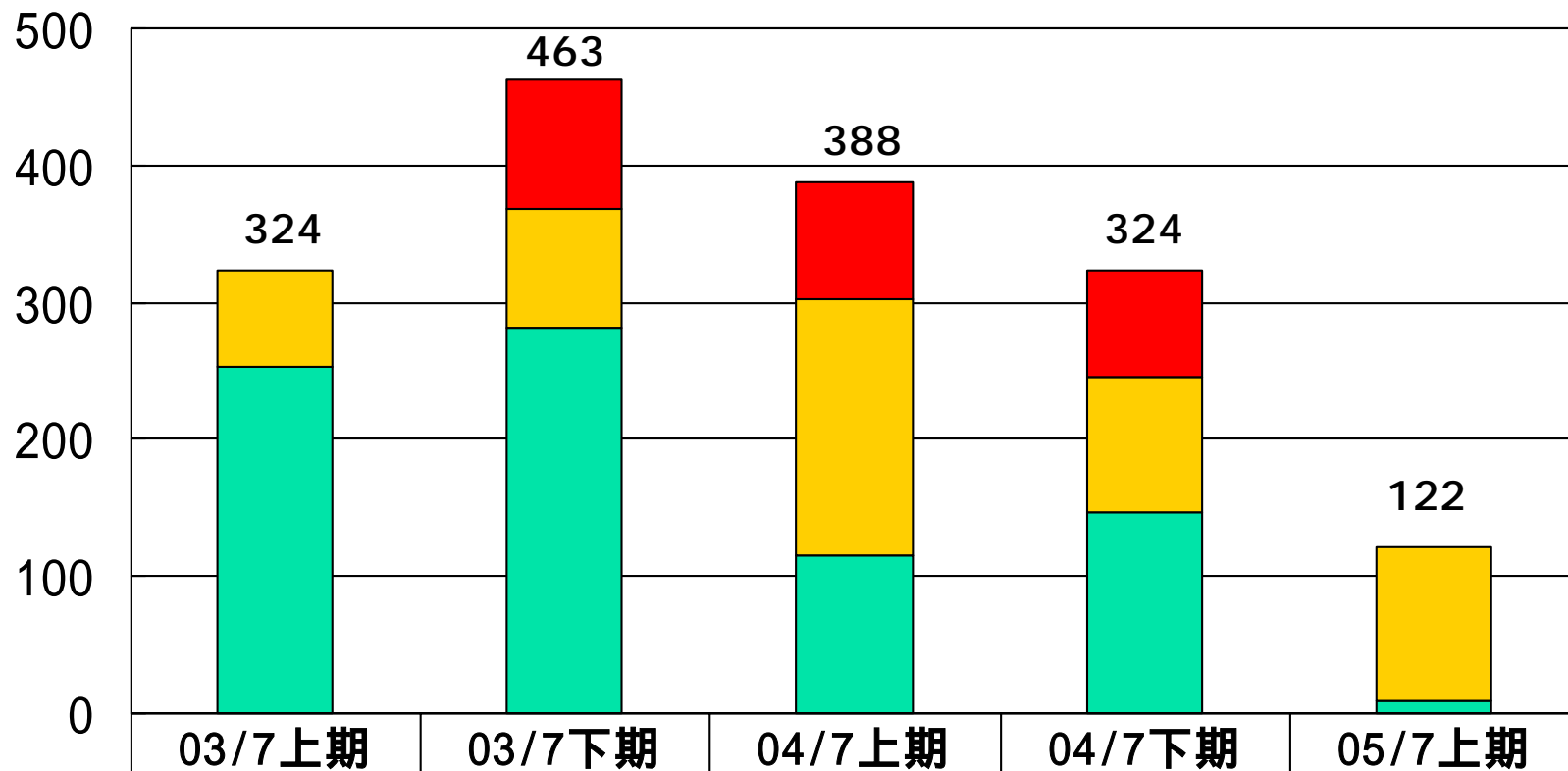


■ その他	32	106	301	178	167
■ 化学関連業界	324	367	332	291	150
■ 食品業界	1,315	1,231	1,150	1,199	781

(注) 売上高は、機械の売上高のみ

重点分野別売上高

百万円

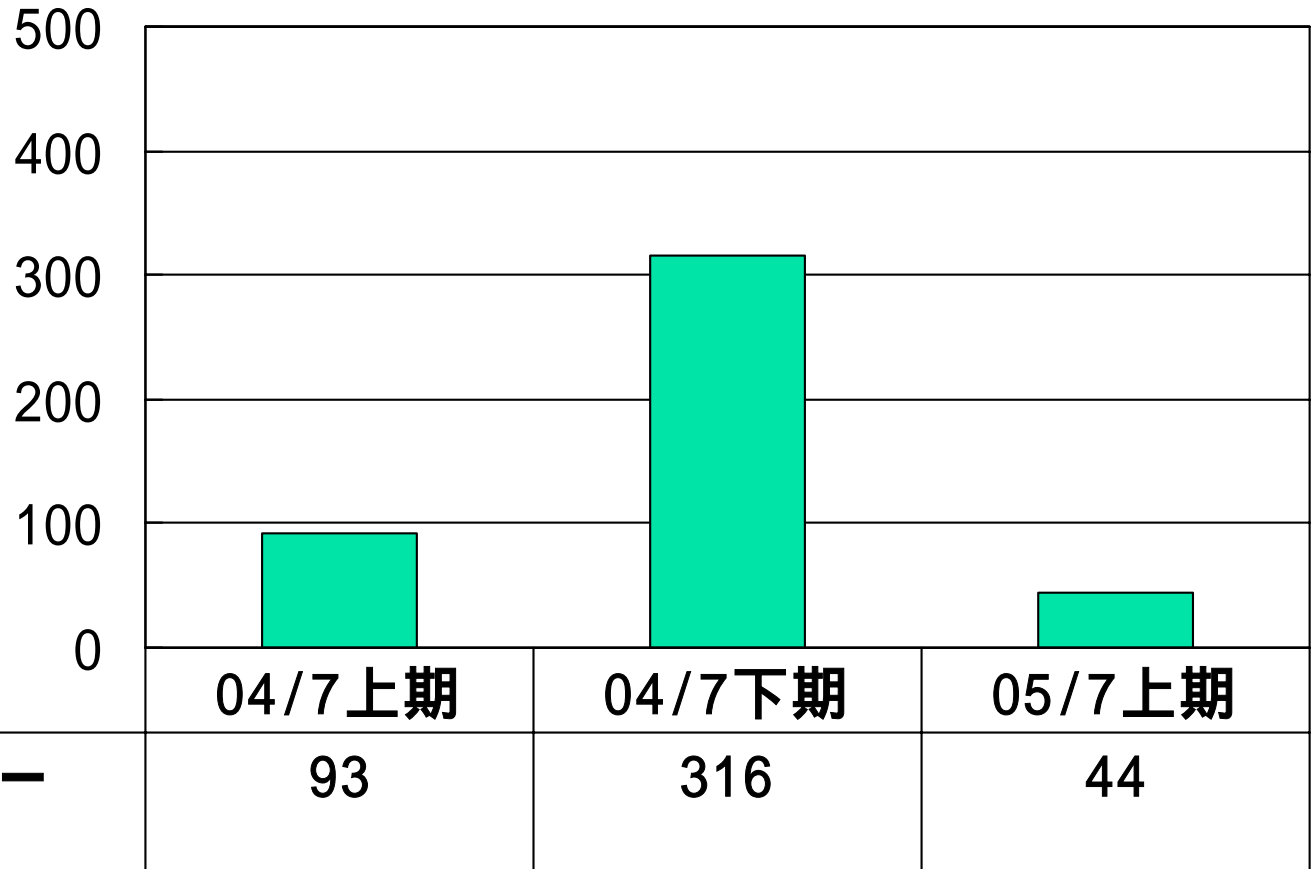


■ ペットフード	0	95	85	77	0
■ 健康食品	71	87	187	100	112
■ 医療分野	253	281	116	146	9

(注)売上高は、機械の売上高のみ

海外売上高

百万円



(注) 売上高は、機械の売上高のみ

販管費、営業外損益のポイント

- 販管費：前年同期比 35百万円
(04/1中：404百万円 05/1中：368百万円)
* 計画比： 78百万円
(計画：447百万円 実績：368百万円)
 - 前期発生した展示会費用、公開費用無く、また出荷台数が減少したことからアフター費が減少したことによる
- 営業外費用：前年同期比 27百万円
(04/1中：30百万円 05/1中：2百万円)
 - 前期発生した株式公開関連費用、新株発行費用が無い
* 計画比：+2百万円
(計画：0.7百万円 実績：2.9百万円)

*. 2005年7月期
通期業績見通し*

2005/7期通期見通しのポイント

- 減収、大幅減益(計画を下方修正)
 - 今期受注実績は前期比大幅に増加
 - 一方、売上計画に計上していた大型受注案件(約5億円)が来期へ先送り
 - 他の案件も設備投資先送りの傾向から計画未達を見込み通期計画を下方修正
 - 総利益率は、高粗利率機種種の減少により2.9ポイント低下
 - 販管費は抑制するものの、売上高の減少により売上高販管費率は、0.8ポイント上昇

2005年7月期業績予想

(単位:百万円)

	2004年 7月期実績	2005年 7月期予想	増減	
			金額	率
売上高	3,983	3,800	183	4.6%
売上総利益	1,182	1,020	162	13.8%
(売上総利益率)	(29.7%)	(26.8%)	-	-
営業利益	401	245	156	39.0%
(営業利益率)	(10.1%)	(6.4%)	-	-
経常利益	412	250	162	39.4%
(経常利益率)	(10.4%)	(6.6%)	-	-
当期純利益	249	147	102	41.0%
(当期利益率)	(6.3%)	(3.9%)	-	-

2005年7月期売上高予想

(単位:百万円)

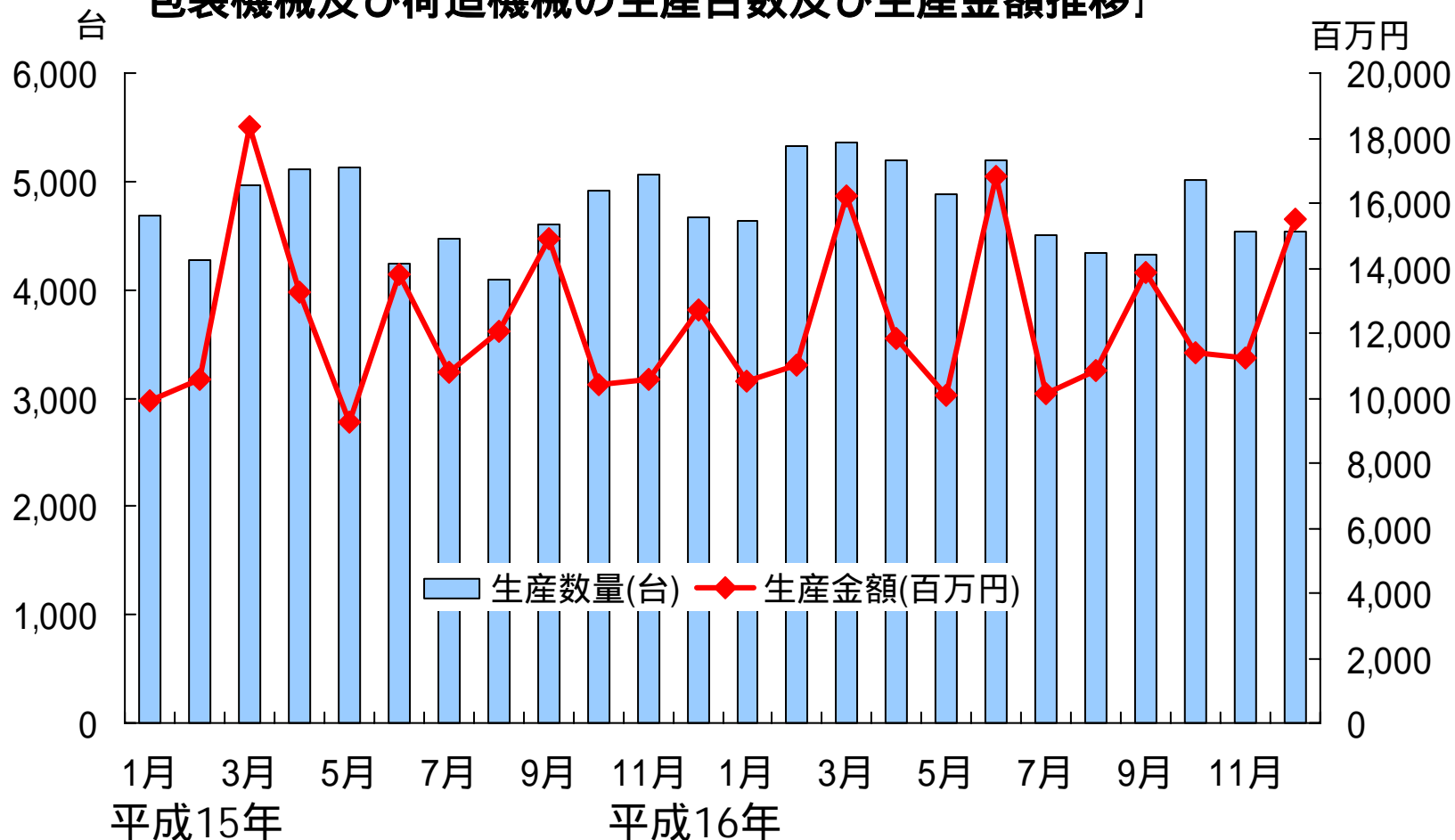
	04/7上期		04/7下期		05/7上期		05/7下期 (予想)	
		売上比		売上比		売上比		売上比
給袋自動包装機	1,014	49.9	931	47.8	683	49.1	1,346	55.9
製袋自動包装機	258	12.7	421	21.6	215	15.5	414	17.2
ガス充填自動包装機	210	10.3	108	5.6	71	5.1	68	2.8
包装関連機器等	300	14.8	208	10.7	129	9.3	300	12.5
保守消耗部品その他	249	12.2	280	14.4	292	21.0	277	11.5
合計	2,033	100.0	1,949	100.0	1,392	100.0	2,407	100.0

・ 市場の見通し及び 今後の取組み

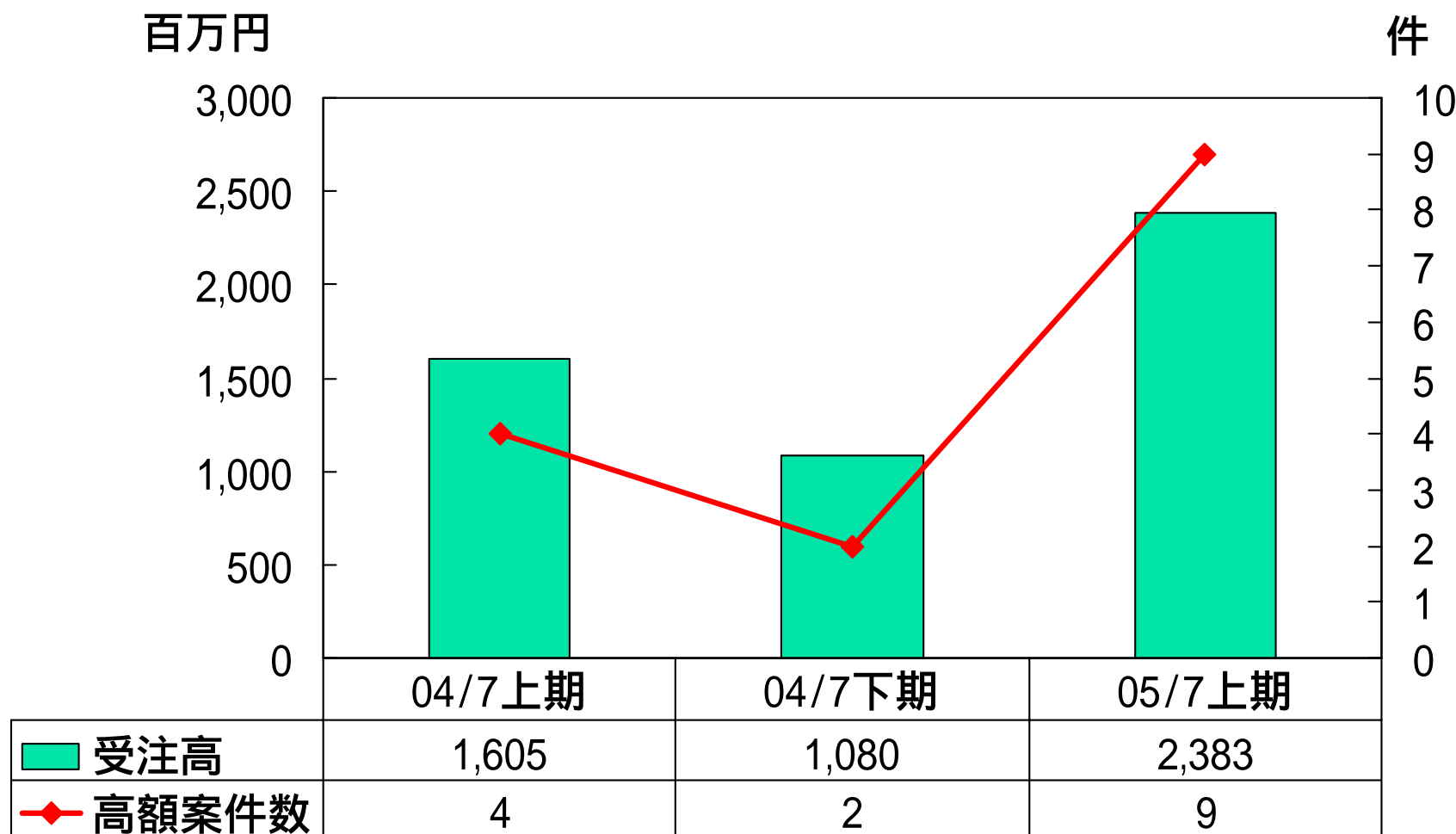
業界動向

経産省 機械統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」



半期受注高推移



(注) 売上高は、機械の売上高のみ

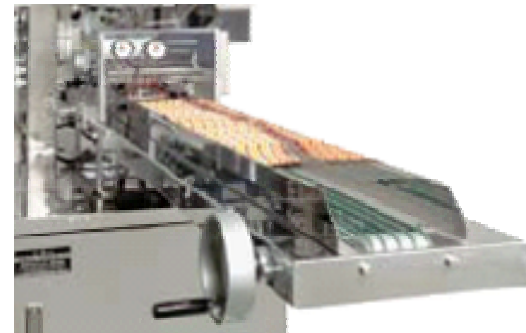
売上高回復・増加へ向けての取組み

1. 主力機種モデルチェンジ機の拡販
 - 2000型Uシリーズ
2. 健康食品受託製造企業への深耕
 - 包装設備保有企業は約80社
3. 削り節業界の更新需要の受注活動を強化
4. 種苗業界等の新規需要の開拓
5. 大型システム案件受注と確実な売上計上

主力機種のモデルチェンジ機の拡販

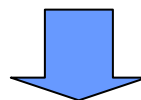
給袋自動包装機 2000型Uシリーズ

・新開発の給袋装置を搭載



特長

安定した品質で生産性がアップ
多品種生産時の段取り替えが容易
塗装レス化による異物混入対策

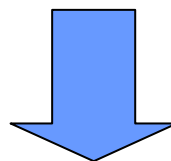


既存顧客の買換需要促進
商品力強化による新規開拓先の拡大

健康食品受託製造企業への深耕

健康食品市場 1兆2,000億円 (健康産業新聞より)

特定保健用食品・サプリメントブームにより、
市場は急拡大中 → 包装機械需要も拡大



< 営業戦略 >

袋詰需要だけでなく、瓶詰・ボトル詰・箱詰需要
に対しても、システム営業を強化
・受託製造企業約80社への深耕

削り節業界の更新需要の受注活動を強化

特別内覧会の実施(3/7～16)

GP - GS33型 ミニパック用Wパック対応
ガス充填自動包装機とWパックカット装置
の連動運転

GP - GS8A型 中袋・大袋用ガス充填自
動包装機の高速運転

更新対象機械のターゲットリストを作成し、
集中的な受注活動を展開

種苗業界等の新規需要の開拓

トレサビリティ(生産履歴追跡システム)、PL
対策等に対する改造需要の増加

印字装置の変更:種苗業界等

印字検査装置の取付:精米業界等

種苗業界の買換需要の増加

既設包装ラインの更新

包装方式変更に対応する包装ライン導入

内製化に対する新規導入 等

➡ 提案力の強化により、導入を促進

包装システムの市場創造型トータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社



General Packer
The total planner of a packaging system

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川

〒481-8601

愛知県西春日井郡西春町大字字福寺神明65

電話：0568-23-3111 FAX：0568-22-3222

E-mail：x-hasegawa@general-packer.co.jp